

## 10月26日(土)

11:30 ~ 12:30 世話人会 1F「さくらそう」

12:30 ~ 12:50 休憩

12:50 ~ 13:00 開会の挨拶

### セッション1 「遺伝子」

13:00 ~ 13:30

座長：栗田 卓也（埼玉医科大学内分泌・糖尿病代謝内科）

#### 1. 1型糖尿病濃厚発症家系における rare variant の探索

- 川畑由美子<sup>1)</sup>、能宗伸輔<sup>1)</sup>、馬場谷成<sup>1)</sup>、廣峰義久<sup>1)</sup>、貴志明生<sup>2)</sup>、前川 聡<sup>3)</sup>、池上博司<sup>1)</sup>
- 1) 近畿大学医学部内分泌・代謝・糖尿病内科、2) 岡本第二総合病院糖尿病内科
  - 3) 滋賀医科大学糖尿病・腎臓・神経内科

#### 2. 1型糖尿病の発症の低年齢化に関与する遺伝子環境因子間相互作用の解明

- 綾部匡之<sup>1)</sup>、深見真紀<sup>1)</sup>、緒方 勤<sup>2)</sup>、川村智行<sup>3)</sup>、浦上達彦<sup>4)</sup>、菊池信行<sup>5)</sup>、雨宮 伸<sup>6)</sup>、杉原茂孝<sup>7)</sup>、小児インスリン治療研究会遺伝素因プロジェクトメンバー<sup>8)</sup>
- 1) 独立行政法人国立成育医療研究センター分子内分泌研究部
  - 2) 浜松医科大学小児科、3) 大阪市立大学小児科、4) 駿河台日本大学病院小児科
  - 5) 横浜市立大学市民総合医療センター小児科、6) 埼玉医科大学小児科
  - 7) 東京女子医科大学東医療センター小児科、8) 小児インスリン治療研究会（JSGIT）

#### 3. CD4 陽性 T リンパ球における 1 型糖尿病疾患感受性遺伝子の発現解析

- 上田裕紀、野嶋孝次、上田(西脇)由美子、大石(久永)裕子  
大阪大学大学院医学系研究科分子内分泌学

### セッション2 「動物モデル」

13:30 ~ 14:00

座長：永淵 正法（九州大学大学院医学研究院保健学部門検査技術科学分野病態情報学）

#### 4. 1型糖尿病関連マウスにおける Poly (I : C) 投与による 1 型糖尿病発症の検討

- 清水まみ<sup>1)</sup>、安田尚史<sup>2)</sup>、勝田敦美<sup>1)</sup>、高橋和真<sup>3)</sup>、原 賢太<sup>4)</sup>、永田正男<sup>4)</sup>、横野浩一<sup>4)</sup>
- 1) 神戸大学大学院医学研究科総合内科学
  - 2) 神戸大学大学院保健学研究科、医学研究科総合内科学
  - 3) 岩手医科大学糖尿病・代謝内科、4) 神戸大学大学院医学研究科総合内科学

#### 5. IRF4 遺伝子欠損 NOD マウスにおける自己免疫性糖尿病の抑制

- 赤澤 諭<sup>1)</sup>、阿比留教生<sup>1)</sup>、古林正和<sup>2)</sup>、厨 源平<sup>3)</sup>、川崎英二<sup>4)</sup>、山崎浩則<sup>2)</sup>、川上 純<sup>1)</sup>
- 1) 長崎大学病院第一内科、2) 長崎大学保健・医療推進センター
  - 3) 独立行政法人国立病院機構長崎医療センター内科、4) 長崎大学病院生活習慣病予防診療部

## 6. ウイルス糖尿病高感受性マウス開発の試み

- 永淵正法、三根敬一郎、栗崎宏憲、勝田 仁  
九州大学医学研究院保健学部門検査技術科学分野病態情報学

## セッション3 「小児」

14:00 ~ 14:30

座長：杉原 茂孝（東京女子医科大学東医療センター小児科）

## 7. 日本人小児期発症 1 型糖尿病患者のコントロールは 1995 年以降改善している

- 望月美恵<sup>1)</sup>、杉原茂孝<sup>2)</sup>、浦上達彦<sup>3)</sup>、内潟安子<sup>4)</sup>、川村智行<sup>5)</sup>、菊池信行<sup>6)</sup>、菊池 透<sup>7)</sup>、横道博司<sup>8)</sup>、松浦信夫<sup>9)</sup>、佐々木望<sup>10)</sup>、雨宮 伸<sup>10)</sup>、小児インスリン治療研究会
- 1) 山梨大学医学部小児科、2) 東京女子医科大学東医療センター小児科  
3) 駿河台日本大学病院小児科、4) 東京女子医科大学糖尿病センター  
5) 大阪市立大学大学院医学研究科発達小児医学教室、6) 横浜市立大学医学部小児科  
7) 新潟大学医歯学総合研究科小児科、8) 山梨大学医学部社会医学講座  
9) 聖徳大学児童学研究所、10) 埼玉医科大学医学部小児科

## 8. 1 型糖尿病管理中の糖尿病性ケトアシドーシスと重症低血糖の頻度および臨床的特徴に関する検討

- 羽生政子<sup>1)</sup>、桑原怜未<sup>1)</sup>、奥野美佐子<sup>1)</sup>、吉田彩子<sup>1)</sup>、鈴木潤一<sup>1)</sup>、浦上達彦<sup>1)</sup>、高橋昌里<sup>2)</sup>
- 1) 駿河台日本大学病院小児科、2) 日本大学付属板橋病院小児科

## 9. エピトープの異なる抗 GAD 抗体を認めた 1 型糖尿病の一卵性双胎例

- 西山敦史<sup>1)</sup>、川崎英二<sup>2)</sup>、浜口哲矢<sup>3)</sup>、小林寛和<sup>3)</sup>、高嶋基嗣<sup>3)</sup>、永田正男<sup>3)</sup>
- 1) 加古川市民病院機構加古川西市民病院小児科、2) 長崎大学病院生活習慣病予防診療部  
3) 加古川市民病院機構加古川西市民病院内科

14:30 ~ 14:40 休憩

## セッション4 「細胞性免疫」

14:40 ~ 15:10

座長：阿比留教生（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科第一内科）

## 10. 1 型糖尿病における resting 制御性 T 細胞の量的・質的検討

- 長谷田文孝<sup>1)</sup>、今川彰久<sup>2)</sup>、藤澤玲子<sup>1)</sup>、宮里 舞<sup>1)</sup>、別所 恵<sup>1)</sup>、忌部 尚<sup>1)</sup>、宮脇正博<sup>1)</sup>、堤 千春<sup>1)</sup>、佐野寛行<sup>1)</sup>、三柴裕子<sup>1)</sup>、大西峰樹<sup>1)</sup>、寺前純吾<sup>1)</sup>、花房俊昭<sup>1)</sup>
- 1) 大阪医科大学内科学 I、2) 大阪大学大学院医学系研究科内分泌・代謝内科学

## 11. 1型糖尿病における膵島抗原特異的T細胞の統合的解析法

○中條大輔<sup>1)</sup>、霜田雅之<sup>1)</sup>、松本慎一<sup>1)</sup>、梶尾 裕<sup>2)</sup>、八木邦公<sup>3)</sup>、Gerald T. Nepom<sup>4)</sup>、Jacques Benchereau<sup>5)</sup>、上野英樹<sup>5)</sup>

- 1) 国立国際医療研究センター糖尿病研究センター
- 2) 国立国際医療研究センター糖尿病内分泌代謝科
- 3) 金沢大学医薬保健研究域医学系臓器機能制御学
- 4) Benaroya Research Institute Immune Tolerance Network
- 5) Baylor Research Institute Institute for Immunology Research

## 12. 劇症1型糖尿病膵島のプロテオミクス解析

○西田頼子、会田 薫、田中昌一郎、小林哲郎  
山梨大学医学部第3内科

## セッション5 「興味深い症例①」

15:10 ~ 15:50

座長：清水 一紀（心臓病センター榊原病院糖尿病内科）

## 13. 乳癌を早期に発見し得たStiff-person 症候群併発急性発症1型糖尿病の1例

○稲葉惟子<sup>1)</sup>、堤 千春<sup>1)</sup>、宮脇正博<sup>1)</sup>、佐野寛行<sup>1)</sup>、三柴裕子<sup>1)</sup>、今川彰久<sup>2)</sup>、寺前純吾<sup>1)</sup>、中嶋秀人<sup>1)</sup>、花房俊昭<sup>1)</sup>

- 1) 大阪医科大学内科学I、2) 大阪大学大学院医学系研究科内分泌・代謝内科学

## 14. CSII療法変更により、著明な肝腫大とNAFLDが改善した思春期1型糖尿病の一例

○古林正和<sup>1)</sup>、阿比留教生<sup>2)</sup>、高島治子<sup>2)</sup>、野崎 彩<sup>2)</sup>、原口 愛<sup>2)</sup>、安井順一<sup>2)</sup>、池岡俊幸<sup>3)</sup>、赤澤 諭<sup>2)</sup>、植木郁子<sup>4)</sup>、堀江一郎<sup>2)</sup>、安藤隆雄<sup>2)</sup>、川崎英二<sup>3)</sup>、山崎浩則<sup>1)</sup>、川上 純<sup>2)</sup>

- 1) 長崎大学保健・医療推進センター、2) 長崎大学病院内分泌代謝内科（第一内科）
- 3) 長崎大学病院生活習慣病予防診療部、4) 長崎大学病院国際ヒバクシャセンター

## 15. コーヒー、緑茶の過剰摂取が引き金と考えられた、急激な貧血の進行を認めた緩徐進行1型糖尿病の一例

○澤木秀明、井上佳代、庄田武司、片岡伸彦  
有澤総合病院糖尿病センター

## 16. 膵腎同時移植後に1型糖尿病の再発をきたした3例

○入村 泉<sup>1)</sup>、馬場園哲也<sup>1)</sup>、吉田宣子<sup>1)</sup>、高木通乃<sup>1)</sup>、吉田直史<sup>1)</sup>、東谷紀和子<sup>1)</sup>、花井 豪<sup>1)</sup>、田中伸枝<sup>1)</sup>、小山一郎<sup>2)</sup>、中島一朗<sup>2)</sup>、瀧之上昌平<sup>2)</sup>、内潟安子<sup>1)</sup>

- 1) 東京女子医科大学糖尿病センター内科、2) 東京女子医科大学腎臓外科

15:50 ~ 16:10 休憩

**イブニングシンポジウム 「1 型糖尿病の Care はどうあるべきか」 16 : 10 ~ 18 : 10**

座長：浦上 達彦（駿河台日本大学病院小児科）

島田 朗（東京都済生会中央病院内科）

**1. 1 型糖尿病の Care はどうあるべきか**

南 昌江

医療法人南昌江内科クリニック

**2. 1 型糖尿病の病期に応じた 'Care' について**

黒田暁生

徳島大学糖尿病臨床・研究開発センター

**3. 患者として医師としてテツとして、1 型糖尿病の CARE を考える**

山下滋雄

JR 東京総合病院糖尿病・内分泌内科

**4. 患者かつ医師の視点から見た 1 型糖尿病診療の変化と今後**

伊藤 新

慶應義塾大学医学部腎臓内分泌代謝内科

18 : 10 ~ 18 : 20 休憩

**Special Invited Lecture**

18 : 20 ~ 19 : 20

座長：島田 朗（東京都済生会中央病院内科）

**Cellular immune regulation in type 1 diabetes**

Leonard C Harrison

The Walter and Eliza Hall Institute of Medical Research

19 : 20 ~ 19 : 30 休憩

19 : 30 ~ 懇親会 1F「楓」